

コーヒー入門講座 ～精製から焙煎、淹れ方まで～



おいしい一杯を目指して慎重にお湯を注ぐ



飲み比べて香りや味の違いを実感

第3回では実際にペーパードリップを使った淹れ方を教わり、一人ひとり実践しました。

奥深いコーヒーの世界

11月から12月にかけて、極久里珈琲の市澤秀耕講師による全3回のコーヒー入門講座を行いました。コーヒーの味が変化する3つのポイントである精製・焙煎・淹れ方について、講話と実習で学びました。第1回と2回の講座では精製方法や焙煎度の違うコーヒーを飲み比べ、参加者の皆さんは各々の好みの味を見つけていたようでした。



講師によるデモンストレーション
ムムクと膨らんでいく豆に感嘆

「地域支え合い活動」 ご活用下さい

「ちょっとした日常生活上の困りごと」に協力する活動を行っています。現在の登録会員は、利用会員143名、協力会員120名です。

これからも随時会員の募集をしていますので、伊達中央交流館へお問合せ下さい。

電話 551-1285

《活動内容》

- ・ゴミ出し 1回
- ・片付け (15分)
- ・庭手入れ (15分)
- ・雪かき (15分)
- ・灯油入 1回
- ・電球交換 1回

・・・活動報告(令和3年4月～令和4年1月10日まで)・・・

- 利用依頼件数…41件
- 実際に協力できた件数…37件(回数にして92回)
※うち2件は毎週定期的にゴミ出しの活動
- 内 容 可燃ゴミ出し…67回、資源ゴミ出し…8回、粗大ゴミ出し…2回
カーテンレールの取付…2回、雪かき…13回
※お手伝いできる範囲(1回15分程度の活動)を大きく超えるご相談(植木の剪定など)は、お受けできませんでした。
※雪かきは、基本的に雪で一本道を作る程度のお手伝いになります。

NPO法人
伊達西地区

自治協だより

第35号

発行・編集
NPO法人
伊達西地区自治協議会
発行責任者
理事長 小野孝雄

- 1面 コーヒー入門講座・地域支え合い活動
- 2面 宮沢賢治の文学世界Ⅶ⑦ 現地研修旅行・ヨガ教室・クリスマス飾り教室
- 3面 ぐるっとだてⅤ⑤・子ども農園・門松づくり教室
- 4面 おらが町内会パート3 諏訪野自治会

シリーズ おらが町内会パート3 諏訪野自治会

「公園の街」諏訪野

あけましておめでとーございます

諏訪野団地は平成7年から分譲が始まり、現在は丁目毎に3つの町内会が設置され、これらが集まって世帯数263戸、総人口約850名で諏訪野自治会を構成しています。

前回までは、団地のコンセプトやハード面を紹介してきましたが、今回は「緑の環境をどのように維持しているか」などのソフト面を紹介いたします。

◆緑豊かな公園都市 諏訪野を目指し

諏訪野団地内には多くの樹木があり、団地造成時には幼木であったサクラは今は成木となり毎年春には美しい満開のサクラ並木を見ることができます。このサクラの木は個人宅に植栽されており個人所有者のお世話があつてこそ私たちが和ませられるのです。

このように「諏訪野の緑」は第一に住民の皆さんによって維持され、それをお手伝いする自治会によって守られております。

その一つは「環境景観部」です。各丁目から選任された8名の部員で構成され4月から11月にかけて、月に一度実施される「一斉清掃」を統括しております。毎年95%の出席率を誇っており団地住民の環境景観美化に対する高い意識が窺い知れます。

又、コモンのシンボルツリー等の剪定・害虫対策など委託業者と連携しながら実施しています。

二つめは、ボランティア組織である「グリーンキーパー」の皆さんです。現在7名で活動しており、親水公園の草刈り、低木の剪定、落ち葉拾い、垣根や看板の整備など、団地内の緑化景観保全活動を積極的に実施しています。

三つめは住民5名で構成されている「建築協定運営委員会」です。諏訪野団地には住民が守るべき建築協定・緑化景観協定があり、これによって統一的な街並みや緑多い景観が維持されています。委員会は住民から出される建物や緑化景観の変更について審査するなど協定遵守に向け日々活動しています。

◆安心・安全な街 諏訪野を目指し

全国各地で災害が多発する中で、自治会では、以前の「諏訪野防災組織」を見直し「諏訪野自治会自主防災組織」を令和2年5月に立ち上げました。「防災計画」「初動マニュアル」を作成し、毎年「防災講座」「防災訓練」「安否確

認、救急救命法講習会」を実施するなど、災害による被害の防止と軽減に向けて活動をしています。

◆子どもと高齢者にやさしい街 諏訪野を目指し

諏訪野団地も入居が始まって25年が経過しました。これまで最大で140名いた児童は令和3年には50名に減少し逆に高齢者が増えて来ております。



↑補植も景観維持の一つです



↑ピロタ(集合所)での防災講座



→子どもたちとイモ掘り

編集後記

京西陣の名工の言辭が心に残る。伝統工芸の継承は毎月がイノベーション(改革)の連続だ。その意欲が無くなれば引退だとも言う。生計が絶えれば伝統文化は廃れるということか。「おらが町内会」シリーズパート3が連載中である。身近なところに、人知れずの文化財が息づいている。(鈴木克)



上 伊達町の奈良時代にあって特筆すべきこととして伊達藩跡群の成立の話を聞く

右上 今回スタート地点の東北新幹線橋脚 ここから東へ
右下 伊達桑折 IC 付近 境界線は IC を北上 目の前はイオン建設用地となっている



12月22日(水) 第5回ぐるっとだて
開催。前回到達点の新幹線橋脚から東へスタート。新堀川の境界線を巡り、東北中央道伊達桑折ICまで巡行しました。途中、瀬戸場地点を中心に、伊達藩跡の概要を伺いました。新堀川北側の桑折町側にも成田藩跡群があり、この付近には良質な粘土が算出したことが視られます。
この辺は奥州街道、国道4号、東北本線、新幹線、さらに東北中央自動車道と交通の要衝となっています。

ぐるっとだてⅠ⑤



←ホカホカの焼きいもは格別！

←よく育った長ネギを収穫

毎月第2・第4金曜日に子ども農園を開催しています。太く立派に育った長ネギを抜いて、収穫のピークを終えました。現在は、それぞれに名札をつけて育てているニンニクや玉ねぎ、今年初めて植えた麦などの生長を見守っています。
交流館が12月から飲食可能になったため、感染症予防に努めつつ、畑仕事の後、試食も再開しました。子どもたちは、ナン釜でじっくり焼いた甘い焼きいもをおいしそうに味わっていました。

子ども農園



立派な門松が完成～！



協力してしっかり束ねます



丁寧に磨いて切り口を合わせます



12月24日(金)に、福島県森の案内人の連沼昇さんと安齋正博さんを講師に迎え、竹の切り口が笑っているように見える「笑い門松」を作りました。
3本の竹を切り口を揃えて束ね、松竹梅や南天で飾り付けます。始めに竹をきれいに磨き、ヤスリをかけて整える作業を行いました。とても集中してピカピカにしたあと、3本の紐で束ねますが、切り口を揃えてしっかり固定

門松づくり教室

するのが難しい！先生や地域のボランティアの皆さんに手伝ってもらったり、お隣どうしで支え合ったりしながら形を作りました。
好みの枝ぶりのものを選んで飾り付けをし、にっこり笑った華やかな門松ができました。縁起の良い門松を飾って迎えた新年、良い一年になりますように。



おいしい前沢牛に大満足→

↓大人も楽しい触れる展示



↓大正時代の建物を再現したレトロな空間で宇宙体験を味わう



←緯度観測所と宮沢賢治についての講話を聴く



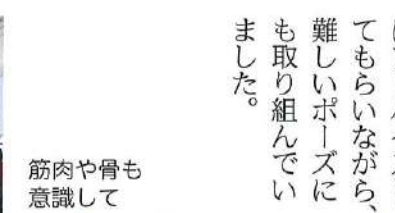
宮沢賢治の文学世界Ⅶ ⑦ 現地研修旅行

12月1日(水)、高野保夫福島大学名誉教授による講座「宮沢賢治の文学世界Ⅶ」の現地研修旅行で、岩手県北上市と奥州市に赴きました。
宮沢賢治の作品も所蔵する、全国唯一の詩歌専門の総合文学館・日本現代詩歌文学館を見学したのち、奥州市方面に移動し、前沢牛に舌鼓を打ちました。

賢治が残した資料や宇宙の魅力を感ずる体験型展示などを鑑賞し、講話もいただいた、密度の濃い時間を過ごしました。
これまでの講座の締めくくりとして、充実した研修となりました。



うまく負担をかけてあげることで効果が期待できます



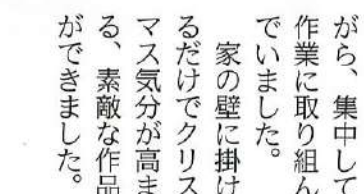
筋肉や骨も意識して



12月2日(木)から毎週木曜日に、全4回のヨガ教室を開催しました。
10月に引き続き、講師はヨガインストラクターの深谷恵さんです。
一人ひとりの悩みを聞き取り、身体気になるところに働きかけるようなポーズを教えてくださいました。参加者の皆さんは、正しい姿勢をとるコツやちょうどよい負荷のかけ方を先生にアドバイスしてもらいながら、難しいポーズにも取り組んでいました。



同じ形でもバランスの取り方に個性が出ました



クリスマス飾り教室

12月3日(金)、山中厚子講師による、華やかなクリスマス飾りを作る教室を開催しました。
三日月型のベースに、グルーガンでパーツを貼り付けていきますが、きれいに形を整えるのに一苦労。参加者の皆さんはパーツの場所をよく見極め、ポリウレタンを出すことにも気をつけながら、集中して作業に取り組みでいました。

家の壁に掛けるだけでクリスマス気分が高まる、素敵な作品ができました。